

## 昭和元気くらぶ高槻 高槻デイサービス爽やかな風

### 「ジャーナリストによる、講話レクリエーション」のご案内

昭和元気くらぶ高槻 高槻デイサービス爽やかな風では、「NHK文化センター」、「毎日新聞社文化センター」で講師を務めるジャーナリストによる、「講話レクリエーション」を始めます。

ご利用者の世代に則した昭和をテーマにした衣食住の話しや時代を象徴する出来事、懐かしい暮らしや文化などを、講師の解説を聞きながら記憶を蘇らせ、心の潤いを作る知的なレクリエーションです。この機会に、ぜひ、体験利用をご案内申し上げます。

#### 1. 主旨

認知症予防およびメンタルヘルス効果を目的として、思考力・記憶力を活性化します。

#### 2. 具体的な講話レクリエーション（例）

##### ■昭和から平成へ、私たちの食生活はどうか変わったのか

米食だった日本人ですが、今では世界中の食文化を楽しめる時代です。

そして海外では、ご利用者の皆さんが若かりし頃によく使った、醤油、味噌、豆腐、日本酒などが人気で、あらためて日本食の伝統文化が注目されています。

その理由と魅力を、ご利用者の昔の記憶を引き出しながら解説します。

##### ■淀川と大阪人の長い関係

高槻市の南に接する淀川は、昭和の半ばまで水上交通が残っていました。

京都の伏見には川湊があり、大阪の天満橋や淀屋橋まで大型の船が往来し、人やモノを運んでいました。また、淀川の岸边には、渡し船がそこかしこに往来していました。

「水の都」大阪を作った淀川から、大阪市内に残る堀や筋の名前のある道路が、かつては八百八橋を作った川であったことなども解説し、大阪市内に出かけた若かりし頃を思い出して頂きます。

##### ■日本各地の名物と風習を思い出す

ご利用者が、ご夫婦や家族、職場の旅行で行った全国各地を思い出して頂く、旅の講話。すべての都道府県を取材した講師が、土地土地の名物料理や名所旧跡、生活習慣まで解説しながら、懐かしい記憶を呼び起こして頂きます。

取材で撮影した現地の名所旧跡の写真画像も、ご覧頂きます。

**\* 上記は、講話レクリエーションの一例です。テーマは、他にもご用意します。**

3. 担当講師 ジャーナリスト・作家 高槻 新士

1959年生まれ。本名：玉津島 寿彦（たまつしま としひこ）

香川県出身。関西大学で流通経済史を選考後、大学教職員を経て、広告業界へ転身し、コピーライター、クリエイティブディレクター、マーケティングプランナーを経験。

1995年の阪神淡路大震災の折に、灘の蔵元復活にPRディレクターとして活動。日本酒の伝統文化に強く共鳴し、2000年より、k&k国分(株)「地酒蔵元会」の企画・取材・執筆に参画する。

その後、フリーランスとなり、雑誌やwebでジャーナリストとして活躍。現在は、酒と食のジャーナルのほか、NHK文化センター 講師、毎日新聞社文化センター 講師を担当。また、「関西和飲（わいん）の会」「北新地美醸会」「関西のむりえ協会」「大阪 酒の陣」など日本酒と食を楽しみ、学ぶイベントを、関西の料飲店と催している。

執筆業では、小説家やイラストレーターとしても活動。2001年 筑摩書房が主催する太宰治賞で、投稿作品「銀人」が受賞候補。2015年 二十四の瞳 岬文壇エッセイ 佳作賞を受賞している。

- ・(社)日本広告制作協会 認定 スペシャリスト
- ・財団法人 粹文化探究会 会員・コラムニスト
- ・大阪府保険医協会 専属ライター

